

# ふ、く、ふ、く かねら版

医療・介護・福祉コミュニケーション情報誌

麻生教育サービス株式会社 URL <http://www.aso-education.co.jp/>

特集① Pickup Report

孤立死をゼロにするために  
— 福岡市「見守り推進プロジェクト」

特集② Symposium Report

日本の介護を、世界のKAIGOにする



2014  
VOL. 91

**AES**  
ASO EDUCATION SERVICE CO.,LTD.

# 音楽で、介護を「楽しく」

— 介護する人、される人が一緒に楽しむ音楽ケア療法 —



笑顔も起る楽しい脳トレ

音楽の持つ力で、認知症患者の症状の改善を目指し、さらに働く人達のメンタルケアも目指そうという試みに、尽力している堀口直子さん。これまでの実績や、これからの取組みについて、お話しをうかがいました。

**利用者はもちろん、職員の間もほぐす音楽ケア療法を！**

「音楽がからだにもたらす効果」を取り入れた介護ケアを提唱している堀口さん。介護職員が「医療音楽ケアプログラム」を習得するための本格的なカリキュラムを開講したり、自宅で介護を行う人に向けて音楽ケアを学ぶ講座を開いたり、地域で認知症予防の教室を開いたり、幅広く活動しています。

医療音楽ケアの特長は、音楽でからだを動かすことによる脳の活性化などを有機的に組み合わせ、認知症の症状をやらわらげようとしている点。より実証的な裏付けをもとにしようという取り組みをしています。

**医療音楽ケアの実施、あがっている成果**

実際の音楽ケアの現場では、どのようなことが行われているのでしょうか？「指を使った音楽脳トレ」や「音楽ケア体操」では、歌詞曲

堀口さんが、「音楽のよい力を介護の現場にもっと取り入れられたいか？」と考えたのは、演奏家として介護施設を訪れた時のことと、自身が介護施設で働いた経験がもとになっていました。「施設では童謡を演奏することが多いのですが、一番盛り上がるのは実は『お富さん』や『憧れのハワイ航路』などの歌謡曲。あたりまえですが、みなさんが聞きたい曲を演奏すべきだな、と感じました。また介護の現場はすごくハードで、疲弊している人が多いし、離職率もとても高い。職員さんたちのメンタルケアも急務だと感じました。そこから介護する人、される人が一緒に楽しむ音楽ケアプログラムが生まれることになりました。

**「医療音楽ケア」の未来**

現在は民間団体によって認定される「音楽療法士」が行う「音楽療

や童謡にあわせて指やからだを動かして、脳を活性化。対象者の年齢やからだの状態に合わせて音楽を選んで音楽を選

参加者もリフレッシュできるセミナー

さらに、施設職員の中にも、「音楽ケアのある日にシフトに入りたい」という希望が出るようになるなど、着実に手応えを得ているそう。

これらのことから、「音楽のプロが行う特別なケア」から、介護職員たちが「自分たちで行う音楽ケア」を浸透させていく必要を感じています。

株式会社アリア ミュージックオフィス  
代表取締役  
(社)認知症高齢者研究所 研究員  
堀口 直子さん

**Profile**

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。認知症患者のための「音楽療法コンサート」を現在までに500回以上実施、音楽の効果を数値化した研究を行う。また、介護職員が習得する音楽ケアプログラムの実施研修なども実施している。東京国際芸術協会会員、ヘルパー2級取得、社団法人認知症高齢者研究所研究員

法」が主流。まだまだ資格取得者自体六千人前後にとどまり、また手法も発展段階にある、と話す堀口さん。しかし今年から、堀口さんたちの主催する「医療音楽ケア専門士取得カリキュラム」に対して、厚生労働省の助成金を利用できるようになるなど、明るい兆しも。「前例のないことばかりですが、介護する人、される人双方が幸せになれる音楽のよい力を活かして、もっと介護の現場のクオリティがあげていくことが、わたしの使命です。これからも多くの方に知っていただき、ぜひ体感していただきたい」と話してくれました。

医療音楽ケア専門士取得カリキュラムについて、詳しくはコチラまで ▶ <http://www.ariamusic.jp/program>



このマークは福岡大学美術部の学生によりデザインされたものです。

## 孤立死をゼロにするために — 福岡市「見守り推進プロジェクト」 —

誰にも看取られることなく息を引き取り、長期間放置されたという心痛む孤立死(孤独死)のニュースを見る事があります。孤立死をゼロにするための福岡市の新たな取り組みを取材しました。

**見守り活動の推進**

福岡市では、平成25年8月より「見守り推進プロジェクト」を始めました。これは、重層的な取組みで高齢者等の孤立死を防ぐための事業です。福岡市の高齢者人口は18.8%と、全国平均の25.1%に比べると高くないのですが、単身世帯の高齢者が多いという傾向があります。

取組みの大きな特徴は「見守りダイヤル」の設置。家の中から異臭がする・郵便物が溜まったまま、など異変を感じたら、すぐに通報できる電話番号を設置。福岡市の特徴は、専門のNPO法人と連携をして、現場に急行できること(8~20時の

また「福岡見守るっ隊」を結成しました。これは自宅を訪問する機会が多い企業と協定等結び、異変に気づいたらすぐに通報してもらうというもの。平成26年1月現在、新聞販売店やガス会社、電力会社、生協など14社の協力を得ています。この結果、プロジェクト開始からおよそ5カ月で、通報45件、出動31件の実績がありました。うち生存を確認し、救急車で搬送した事例などが4件、死亡を確認した事例が7件、状況の確認をしたものが34件に及びました。

市外にお住まいの親戚の方からのお問い合わせも多く、この取組みについて周知していく必要があると考えています。

■通報：福岡市「見守りダイヤル」 ☎080-9100-0883 (電話受付 365日24時間対応)  
■お問い合わせ：福岡市保健福祉局 高齢社会政策課 ☎092-711-4891

**「見守り、支え合う、強い絆の地域づくり」を目指して**

**「徘徊高齢者 捜してメール」**

平成25年12月より、認知症などで徘徊する高齢者が行方不明になった際、早期発見保護するためのメール配信事業を始めました。検索依頼のメールが届いた際、可能な範囲で捜索に協力いただける協力サポーターと事業所の登録を呼びかけております。多くの方のご協力をよろしくお願いいたします。

登録用アドレス support@req.jp ←空メールを送信ください。  
お問い合わせ 福岡市保健福祉局 地域保健課 ☎092-711-4373



福岡市 保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課 課長 平田 俊浩氏

## たちばなし



福岡市が行っている「見守り推進プロジェクト」は88歳の祖母と一緒に暮らしている私にとっても他人事ではありません。先日福津市役所を訪ねた際に伺ったのですが、福津市の高齢者人口は27%に上るそうです。福津市にお住いの方に対して認知症の研修を行いました。皆様に研修への関心が高く、熱心に受講されておられました。研修の中でも早期発見が大切だと伝えておりますが、家族だけでは限界があるため、周りの方の協力が必要不可欠です。「徘徊高齢者探しメール」への参加など、出来ることから始めることも重要だと思います。昨年の12月7日に「日本の介護を、世界のKAI GOにする」をキーワードに日本のみならず、アジア地域の方々をお呼びしてシンポジウムを開催いたしました。特集②に当日の様子とレポートを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

麻生教育サービス株式会社 医療福祉事業部 人材育成支援課 立花 美穂

# 日本の介護を、世界の K A I G O にする

福岡市にて、アジアの介護の未来を考える会議が行われました。「国際介護人材養成連携福岡会議」

- 主催 特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター(AABC)
- 共催 福岡アジア高齢社会デザイン協議会



アジアを中心に多くの国籍の方が参加

▶会場では、介護についての様々な資料・データを展示

▼アジアで進む高齢化について関心のある約100名が参加



去る12月7日、福岡市にてアジアにおける介護人材の養成にまつわる国際会議が行われました。日本の高齢化や人口減少は叫ばれて久しいものの、アジアの現状についてはあまり知られていません。実は、韓国・シンガポール・中国をはじめとするアジア地域は、日本に続いて少子高齢化がどんどん進行しています。急速な少子高齢化やそれに伴う人口構造の変化は、各国の社会経済はもちろんのこと、わたしたち一人ひとりの生活全般に大きな影響を及ぼします。

この日行われた会議では「日本の介護を、世界の K A I G O にする」をキーワードに、多様な取組みについての発表が行われました。

た、社会を快適にするための革新的な技術や、新しいビジネスの可能性が示されました。

## 日本の介護を世界の K A I G O にするために

小川 全夫氏  
(AABC 理事長 熊本学園大学教授  
九州大学名誉教授)

まず、各国での介護職のキャリアや介護施設、介護システムがそれぞれに大きく異なる現状が示されました。その後、来るべきアジア太平洋地域での大量の高齢者介護時代を前に、今後取り組んでいくべき「アジア太平洋介護認証」構想を提案。国際的な介護人材の認証制度を実現することによって、複数の国で介護人材の養成ができるようになることのメリットが示されました。そのために、高齢化を世界に先駆けて経験している日本の介護文化や技術を共有していくことが大切であることも共有されました。

## 中国の福祉関連の市場環境 当社の事業運営経験の共有

坂梨 仁哉氏  
(株式会社エス・エム・エス北京子会社  
法人代表兼總經理)

中国で介護人材を派遣する「日康家政」を経営する日本企業の実例が報告されました。中国の法律の状況や、市場の考え方、人材確保の苦労や

## アクティブ・エイジングの今後の展開

キャサリン・ブラウン氏  
(ハワイ大学教授 ACAP 代表)

高齢化社会において重要な概念である「アクティブ・エイジング」。この発表では、高齢者が社会で幸せに生きるための提案が行われました。例えば、年齢に関わらず人々にやさしいコミュニティの作り方や、また全ての世代が教育や文化にアクセスし続けられる生涯学習を推進していくことの重要性、また、健康的に年齢を重ねるためのサポートの必要性などが挙げられました。



加えて、これから必要となる介護人材を確保するために、国境を越えたグローバルな視点が重要であることとを例示。高齢化社会を逆手にと



文化の  
違いな  
ど、実  
際に事  
業を展  
開する  
企業

業ならではの具体的な話を展開。これから海外での展開を考える人にとっては、たいへん実用的な話を聞くことができました。

## 礼愛老年看護服務中心の取り組みご紹介

張雪梅氏  
(株式会社リエイ海外事業開発部  
理愛北京 営業經理)

中国で介護施設を経営する日本企業「リエイ」の実例が発表されました。実際の物件探しから、入居者の状況、評価が高い日本式サービスや認知症への対応など、有意義な内容でした。今後、介護にまつわる民間企業が海外で展開するためのヒントが詰まったお話しでした。



※特定非営利活動法人アジア・エイジング・ビジネスセンター(AABC)とは?「高齢者が安心して暮らせるまちづくりを福岡市においてモデル的に実現する」アジア地域でエイジング(高齢化)の問題に取り組む人々との連携や活動の協力支援を行う「日本やアジア地域でのニーズが高まる、新たなエイジングビジネスを開発すること」を目的に活動。

## 高齢化社会を、グローバルな視点から考える

小川氏 日本の介護(Long term care)制度は、世界的に見て質が高いことで知られています。一方でガラパゴス化が進んでいるとも言え、日本社会でのみ通用するとの議論もあります。キャサリンさんは日本の介護についてどのようなイメージをお持ちでしょうか?

ブラウン氏 様々な人が介護制度を受けることができるという点、また質の高さはたいへん素晴らしいと思います。自国にしか通用しない介護モデルというのは、どの国も抱える問題です。アメリカでも部分部分での努力はなされていますが、

全体的な応用はまだまだです。日本の先進的な取り組みには、アメリカの介護業界も関心があると思いますよ。

小川氏 東アジアの高齢化の進行と、その取組みについては、どのように感じていらっしゃいますか?

ブラウン氏 東アジアの高齢化は、とても急速に進んでいます。年金をはじめ解決すべき問題は多くあると思いますが、特に強調しておきたいのは、年齢に関わらずできるだけ長く働くための方法を講じることが大切であること、子どもが産まれる環境づくりが大切だと

## 小川全夫 教授

(AABC 理事長 熊本学園大学九州大学名誉教授)  
Profile  
1970年九州大学大学院修了後、宮崎大学、山口大学、九州大学大学院、山口県立大学大学院を経て、2010年より熊本学園大学社会福祉学部教授。アジア太平洋アクティブ・エイジングコンソーシアム創立者。

## キャサリン・ブラウン 教授

(ハワイ大学教授 ACAP 代表)  
Profile  
ハワイ大学教授。アジア太平洋アクティブコンソーシアム代表。公衆衛生学・社会福祉学が専門で、ハワイ大学では、優れた指導力においてリージェント勲章を獲得。2011年にホノルル・インスピレーション・ウーマンに選ばれる。



また東アジアの各国で介護についての取組みは行われています。韓国は日本の制度をモデルに介護制度を始めましたし、シンガポールは近所の人同士の助け合いによるシステムをつくっています。台湾は外国からの労働力をもとに自宅での介護を行っています。いずれも国内のそれぞれのニーズにこたえているものだと思います。

小川氏 では高齢化が避けられない中、どのような教育が必要だとお考えでしょうか?

ブラウン氏 若い人はどうしても高齢者のことを体で実感することができません。そのため、ハンズオンという体験学習

が盛んになってきました。実際に指が動きにくくなるテープや、視界が狭くなる装置によって、高齢者の生活を実感しようというものです。また最近では医学部でも、高齢者を実際に話してつきあう体験を持つという授業があります。

小川氏 介護制度について、いまの問題はなんでしょうか?

ブラウン氏 質の高い介護士や社会福祉士はいますが、実は大切なのは現場で実務を担当する人達の質の確保と人数の確保だと考えています。それぞれの国で取組みは始まっていますが、まだまだ途上です。介護の仕組みや名称、仕事内容の整備から行っていくべきだと思います。

# セラピューティックケアで つながる地域の輪

グループホームと認知症デイサービス運営している筑後市の「医療法人城戸医院 ぶどうの樹」地域コミュニケーションの場として月に一度、癒しの日々をもうけ、患者だけでなく地域住民も通うことができる「セラピューティックケア」を体験できるサービスを行なっています。

施設長の城戸さんはこのセラピューティックケアを導入したきっかけをこう話します。「今、介護施設でも看取りをしています。若いスタッフは死にゆく人を前に、何もしてあげられないと泣くんです。その時、以前から知っていたセラピューティックケアがリンクしたんです。これまでも患者へ音楽やドッグセラピーなどで、



肌と肌が触れ合うハンドケア

心のケアや癒しを試してみたい城戸さん。「実はお亡くなりになる1週間前、すでに言



岡田さんによる着衣の上からのレッグケア

葉がでない入居者様へセラピューティックケアを行ないました。そしたら、小さな声で『ありがとう！』とおっしゃったんです。このとき、大切な職員たちの心の無力感が少しでも救われるのではないかと感じました。さらに副交感神経の数値がセラピー中に高くなるというエビデンスが出たんです。それからは職員全員に資格を取ってもらい、施設セラピストとして活動をスタートすると働き方に変化が。離職率が高い介護業界ですが、一年目の職員も含め、この施設は離職率が0。セラピューティックケアによって患者さんと信頼関

の日にボランティアをされる方もいらっしゃると思います。「今ではセラピューティックケアが地域の皆さんを繋いでくれていると思っています」。



医療法人 城戸医院  
グループホーム・デイサービス ぶどうの樹  
■住所 / 福岡県筑後市大字久富667-3  
■電話 / 0942-42-1600

## セラピューティックケアとは？

場所も選ばず、道具もいらない。手の温もりだけで安らぎをもたらすユニバーサルケア。看護、介護職のあらゆる場面に活用できるスキルの一つとして役立てられている。



医療法人 城戸医院  
グループホーム・デイサービス ぶどうの樹  
施設長 城戸 由香里さん

## スタッフインタビュー 岡田亮子さんに聞きました！



セラピューティックケアの魅力は？  
フィンストラクターになって1年半。このケアは手の温もりだけで、殻に閉じこもった方々の扉を開けることができる、言葉のいらぬコミュニケーション方法だと思っています。癒しの日では、普段介護する側の方も気軽に来られ、悩み相談をされたりして嬉しい場になるんです。これからも地域の輪が広がればいいなと思います」

お問合せは 麻生教育サービス株式会社 医療福祉事業部まで ☎092-432-6266

# 天のない介護サービス

らめるのではなく、届かぬ天に向かって常に手が届く方法がないかを探し続ける必要がある。それは人の暮らしに関わる我々に与えられた使命であり、そのこと目指すことが介護現場におけるモチベーションとなるであろう。

介護サービスの現場に常にベストのケアが存在するとは限らない。その時点でベストの方法であったサービスでも、時の流れの中で対象者の生活環境の変化や、考え方の変化等によって、同じ状況が「最善な状況」のまま継続することは考えにくいからである。そうであるがゆえに介護の現場に求められる考え方とは、「天のない介護サービス」なのである。しかし介護サービスに携わる我々は、天がないからこそあき

うのは本来慣れた環境下では変化を望まず保守的になりやすい。特に年を取り、経験を重ねることでの傾向は強まり、若い人の感性を受け入れ難くなってしまう。だから経験を重ねたベテランほど、必要な変革に気が付かないか、あるいは気付けても行動を起こしたくないという気持ちになりやすい。また、年齢や経験に関



係なく性格として「出来ることの可能性」より「出来ない理由」を先に考えてしまい行動に繋がれない人がある。利用者の希望を実現しようとする話し合いを行っても、できることより、それを行うことで生ずる（わずかな）デメリットからしか物事を考えないようなタイプの人チームに入っていると何も変わら

ないという状態で、現場の流れが停滞してしまい、ケアの品質向上が図れない例が数多くある。しかし長年同じ方法で行っているサービスがあつたとして、それでも利用者の不満が解消されない場合や、利用者のニーズに結びつかない場合は、もうその方法は捨てなければならぬという考えが必要である。180度

思考回路を変換して「出来ることから始めよう」という考えが必要なのである。拘束廃止の取り組みにしても「安全性が確保できない」と否定的に捉えて一歩も前に進まないということが最も悪なのである。

すべての条件がクリアできていなくても、今置かれた状況下で出来ることがあつて、それが必要な事柄なら、まず出来ることから始めるべきである。出来る可能性をいつまでも先送りして許されるほど、僕達の目の前にいる「支援を必要としている人々」に時間があるわけではないし、いつまでも我慢させておくわけにもいかなないのである。

特別養護老人ホーム 緑風園 総合施設長 / 執筆者  
菊地 雅洋氏

Profile  
1960年生まれ。社会福祉法人 登別千寿会 理事、特別養護老人ホーム緑風園・デイサービスセンター緑風園・緑風園居宅介護支援事業所 総合施設長、特定医療法人社団千寿会 理事、登別市介護認定審査会委員など多数兼職。社会福祉士・介護支援専門員。ブログ「masaの介護福祉情報裏板」が好評で、講演や連載の執筆なども多数。著書に「人を語らずして介護を語るな～ masaの介護福祉情報裏板」(ヒューマン・ヘルス・システム社)など。



# これからの介護経営のために

## 介護福祉経営研究会「LINK」報告

平成12年に介護保険制度が施行されて14年目。これからの超高齢社会では、安定的な介護福祉経営が重要課題となるなか、介護福祉分野の経営を担う専門職として「介護福祉経営士」のニーズが高まっています。



「介護福祉経営士」は、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が創設した新しい資格で、介護福祉経営に関する諸制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンスなど幅広い知識の修得と実践を目的としています。昨年4月に第1回、同9月に第2回試験が実施されており、全国で332人の「介護福祉経営士」が誕生しています。

資格取得後は、「介護人材の確保」や「人事労務管理」など各界から講師を招き、毎月開かれる研究会で、さらに研鑽を重ねています。昨年11月に福岡市で開催された同協会九州

支部の研究会「LINK」では、日本政策金融公庫国民生活事業・福岡創業支援センター所長の有田哲二氏が「資金調達と事業計画のコツ」をテーマに講演。有田氏は「小さく生んで大きく育てる」という発想と、ニーズを深掘りすることによって明確なターゲットを持つことが大切」など事業を成功に導く秘策について話しました。



### 参加者の声 岩本 昌樹さん(特別養護老人ホームほしのさと施設長)



「研究会ではいろんな方と悩みを共有したり、解決法などをアドバイスしてもらったりという機会を与えていただいています。介護福祉経営士として職員の質を高めていくような人材育成、組織づくりを進め、介護する方々のために、サービスの向上に努めていきたいです」

平成25年11月30日(土) 日本介護福祉経営人材教育協会九州支部



## 続報!

前号でご紹介させていただきました「よりあいの森」の続報です! 現在、福岡市城南区別府で計画中の特別養護老人ホーム「よりあいの森」が、昨年12月福岡市社会福祉施設等補助対象に選定されました。開設に向けて準備中ですが、まだ建設費用が不足しているようです。詳しくはホームページをご覧ください。また、次号の「ふくふくかわら版」で今後の取り組みについて詳しくレポートさせて頂く予定です。お楽しみに!

ホームページ <http://yoriainomori.com>



## 素肌と同じ弱酸性素材を採用!

吸収体表面材

パルプ層

※吸収体の表面材とパルプ層のpH値を、弱酸性に調整しています。

人間の皮膚表面はpH4~6程度の弱酸性と言われており、アルカリ性に傾くことは肌トラブルの原因の一つとされています。本品の吸収体(表面材・パルプ層)は皮膚と同じ弱酸性に調整されており「おむつ内環境の改善」が期待されます。サルバでは、パンツタイプ・テープ止めタイプと高吸収パッドである「朝まで1枚ぐっすりパッド」「尿とりパッドパンツ用」「お肌にやさしい吸水パッド」に、弱酸性素材を採用しています。



サルバ 安心Wフィット



サルバDパンツ しっかりガード 長時間



サルバDパンツ やわらかスリム うす型スーパー



サルバDパンツ すっきりシルエット うす型下着感覚



サルバ 朝まで1枚ぐっすりパッド



サルバ 尿とりパッド パンツ用



サルバ お肌にやさしい吸水パッド

## 素肌と同じ

## 弱酸性素材

※吸収体の表面材とパルプ層のpH値を、弱酸性に調整しています。

2月1日(土) OPEN 「介護」のお役立ち情報サイト <http://www.kazoku-kaigo.com/>

家族介護

KAZOKU KAIGO ~ tips for home care of your precious family ~  
愛する家族を自宅で介護するときのお役立ち情報